

生活環境部の「運営方針と目標」（令和元年度）

生活環境部長 田口 智英

生活環境部調整担当部長 岩崎 好高

1 部の使命・目標に関する認識

部の使命・目標

◇安全・安心で快適な生活環境・住環境を守り、地域の特性を活かした活力あるコミュニティの形成や、NPO等市民活動への支援を通じて高環境のまちづくりを市民と協働で進めます。

◇三鷹の商業・工業・農業等の特性にあわせた振興策を展開し、産業の活性化を図ります。

◇消費者・勤労者としての市民生活の安全・安心を守り、その質の向上を支援する施策の推進を図ります。

各課の役割

生活環境部は、コミュニティ創生課、環境政策課、ごみ対策課、生活経済課の4課で構成され、①市民活動の支援、協働の推進、②環境保全・公害防止や地球温暖化対策などの施策の推進、③環境にやさしいごみ処理・リサイクルの推進、④産業の振興、消費者への支援及び雇用の確保等の推進をする部門からなり、各種事業を通じて、幅広い市民生活のニーズに対応する役割を担っています。

2 部の経営資源（令和元年8月1日現在）

① 職員数

正規職員	45人／990人	比率4.5%	嘱託職員	7人／501人	比率1.4%
------	----------	--------	------	---------	--------

② 予算規模

令和元年度生活環境部予算額（6月補正後）

一般会計	3,639,303,000円
------	----------------

3 主要事業と目標

1 住民協議会や町会などの活動を支援するための新たな仕組みや組織づくりに向けたコミュニティ創生研究事業の推進（コミュニティ創生課）

「コミュニティ創生」について、引き続きプロジェクト・チームを設置して取り組みを進めます。高齢化などにより住民協議会や町会・自治会などの地域コミュニティを支える人材の確保等が困難になっていることから、こうした組織の活動を支援するための新たな仕組みや組織づくりに関する調査・研究に取り組みます。

【目標指標】

- ・「コミュニティ創生検討プロジェクト・チーム」による報告書の作成

2 リサイクルセンターの更新やし尿投入施設の整備を含む「ごみ処理総合計画 2022」の改定（ごみ対策課）

ふじみ衛生組合「リサイクルセンター」の老朽化に伴う更新に向けて、更新後の施設機能や更新整備期間中の両市の不燃物・資源物等の中間処理方法などを含む基本構想の策定に取り組みます。

また、「三鷹市ごみ処理総合計画 2022」の第1次改定は、ごみ減量等推進会議や学識経験者との協働により検討を進め、近年の社会経済状況の変化等を踏まえるとともに、し尿処理施設整備の検討について盛り込みます。

さらに、粗大ごみ処理におけるサービス向上など、さらなるごみ分別とリサイクルの推進策について検討を進めます。

【目標指標】

- ・「三鷹市ごみ処理総合計画 2022」の第1次改定
- ・ふじみ衛生組合リサイクルセンター更新に関する基本構想の策定
- ・ごみ分別アプリの普及促進、累計ダウンロード数 14,500 件

3 ラグビーワールドカップ 2019 及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした更なる観光振興施策の推進（生活経済課）

「三鷹市観光基本方針」に基づき、みたか都市観光協会を中心に、関係団体が取り組む観光関連事業を支援します。特に、ラグビーワールドカップ 2019 や東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、外国人を含む観光客の受入れについては、新規「外国人向けマップ（仮称）」の作成や、多言語翻訳サービスを活用した Web 等インターネット上での情報発信、日本人と外国人が一緒に楽しめるイベントの実施など、観光協会が市民と協働して実施する取り組みを推進します。また、東京都市長会の助成金を活用し、近隣市との市民交流人口の拡大を目指す武蔵野・三鷹・小金井魅力向上プロジェクトに取り組みます。

【目標指標】

- ・「三鷹市観光基本方針」に基づく、市民、関係団体、市などの協働による多様な観光振興事業の推進
- ・外国人対応マップ（仮称）（5,000 部）の作成
- ・みたか観光案内所訪問者数の拡大 31,000 人（年間）

4 持続可能な地域自治組織等の活動への支援の推進（コミュニティ創生課）

平成 30 年度に実施した地域自治組織へのアンケート調査及びヒアリング結果を踏まえ、地域自治組織への加入促進の支援などの取り組みを推進します。

また、「がんばる地域応援プロジェクト」を活用して、新たなコミュニティの創生へとつながる取り組みを一層進めます。

さらに、住民協議会が実施する多世代交流の取り組みの支援など、引き続き連携しながら、協働によるコミュニティ創生に取り組みます。

【目標指標】

- ・市のホームページを活用した町会・自治会の情報発信
- ・「がんばる地域応援プロジェクト事例集」の作成
- ・住民協議会による多世代交流の拡充

5 便利で楽しく買い物をすることができる環境の整備（生活経済課）

協議会（商店会単位）が各地域の特性に合わせた事業を行うにあたり、市を含む関係 7 団体で構成する買物支援事業本部が支援を行います。また、商店数が少ない大沢地域について、従来からの商店街振興のアプローチに加えて、市の福祉部署や地域ケアネット等の地域団体、コンビニ・スーパー等の地域の実情に詳しい事業者等とも幅広く情報共有を進め、宅配・ネットスーパーなど既存サービスの周知と利用促進、移動販売車の導入支援の検討など、遠方への外出が難しい買物困難者への支援も視野にいった取り組みを行います。

【目標指標】

- ・消費者の利便性向上及び地域商店会の活性化
- ・大沢地域における多様な買物支援策の導入支援による買物環境の充実

6 省エネルギー・分散型エネルギーを活かした持続可能な社会に向けた「三鷹市環境基本計画 2022」の第 2 次改定と「防災エコタウン開発奨励事業（仮称）」の検討（環境政策課）

「三鷹市環境基本計画 2022」の第 2 次改定に当たっては、「三鷹市地球温暖化対策実行計画（第 4 期計画）」に掲げる温室効果ガス排出量削減目標や、省エネルギーの取り組みや分散型エネルギーの導入の検討を進め低炭素で強靱な持続可能な社会の実現に努めます。さらに、気候変動による自然災害や健康、農産物などへの被害の回避・軽減対策である「適応策」や、生物多様性や世界の共通目標である SDGs 「持続可能な開発目標」の視点等を「三鷹市環境基本計画」の第 2 次改定に反映していきます。

また、防災対策と自立・分散型電源により「防災エコタウン開発奨励事業（仮称）」を検討します。

新たに構築する三鷹市独自の環境マネジメントシステムを活用した継続的改善により、環境施策の推進を図ります。

【目標指標】

- ・「三鷹市環境基本計画 2022（第 2 次改定）」の確定
- ・エネルギーや防災等持続可能なまちづくりに向けた取り組みの実現

7 ものづくり産業等の集積・強化及び都市型産業誘致の推進（生活経済課）

東京都の補助制度を活用し、事業者の市内工業系用途地域等への移転に伴う新工場整備費用や周辺環境へ配慮した工場の改修等に係る費用への補助を行うほか、「三鷹市都市型産業誘致条例」の周知を行い、優良企業の誘致を推進します。

また、「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動やミタカフェの運営を支援するとともに、ファブスペースみたかの運営では、民間事業者の経営ノウハウを活かした自立型の施設運営を目指しながら、多様な働き方を生み出す場となるよう支援します。

【目標指標】

- ・ものづくり産業の市内移転を含む操業継続（集積促進事業助成1社、地域共生推進事業助成5社）
- ・都市型産業誘致に基づく優良企業の誘致（指定企業1社）
- ・「ものづくり産業活性化ネットワーク委員会」の活動推進
- ・ミタカフェ及びファブスペースみたかの利用者の増加（前年度比）

8 「三鷹市農業振興計画 2022(第3次改定)」に基づく農地保全と都市農業の推進 (生活経済課)

「三鷹市農業振興計画 2022(第3次改定)」に基づき、新たに農業委員会及び市が担う「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」「改正農地法」「改正生産緑地法」等に定められた業務の着実な実行により農地保全を推進します。特に特定生産緑地制度への対応等については、各関係機関等と連携を図りながら取り組みます。

農業振興については、農業施設の導入等に対する支援や野生動物による農産物等の被害抑制などに取り組みます。

また、市内産農産物の活用に向けた取り組みについては、学校給食等における年2回の「三鷹産野菜の日」事業に対し補助するとともに、さらなる使用率向上に向けた検討を行います。

【目標指標】

- ・農産物等の生産性の向上と近代化
- ・獣害被害の抑制
- ・市民の都市農業への理解促進
- ・三鷹市市内産農産物の活用

9 食品ロス削減に向けた市民・事業者との協働による「三鷹市食べきり運動」の推進 (ごみ対策課)

近年、世界的に課題となっている本来食べられるにも関わらず廃棄される食品（フードロス）について、ごみの発生・排出抑制の観点から、市民・事業者と協働した「三鷹市食べきり運動」の取り組みを推進します。また、市内で活動する任意団体（フードバンクみたか）等と連携した食品ロス削減に向けた取り組みを検討します。

【目標指標】

- ・食べきり運動の推進に向けた各種キャンペーンの実施
- ・食べきり運動協力店の認定店舗数（累計30店舗、前年度比17店舗の増）

10 環境センター解体後の跡地利活用の検討（ごみ対策課）

三鷹市環境センターについては、近隣への影響等を考慮しながら解体に向けた取り組みを進めるとともに、資源の有効活用の観点から古着等のストックヤードの整備について検討を進めます。また、残りの空地については、近隣住民等のニーズを的確に捉えつつ、庁内横断的な検討チームで、球技等のスポーツができる施設の整備など総合的な観点から利活用の検討を進めます。

【目標指標】

- ・跡地利活用に向けた検討